

図書館の購入費、億円から18億円に



第1005号
2015年4月3日

日本共産党
多賀城市議団・編集長柳原清
多賀城市留ヶ谷二丁目11番23号
代表(364)3222
FAX(309)3910

◇弁護士による
法律相談

◇申込
電話で予約して下さい。
◇電話
364-3222
◇相談日
4月9日(木)
4月24日(金)
◇時間
午後1:30~
◇場所
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による
暮らしの相談

電話
藤原益栄議員
368-6623
070-6497-6623
佐藤恵子議員
367-0182
090-2027-9884
柳原きよし議員
368-1883
090-2605-4984
戸津川はるみ議員
090-7528-2075

日本共産党

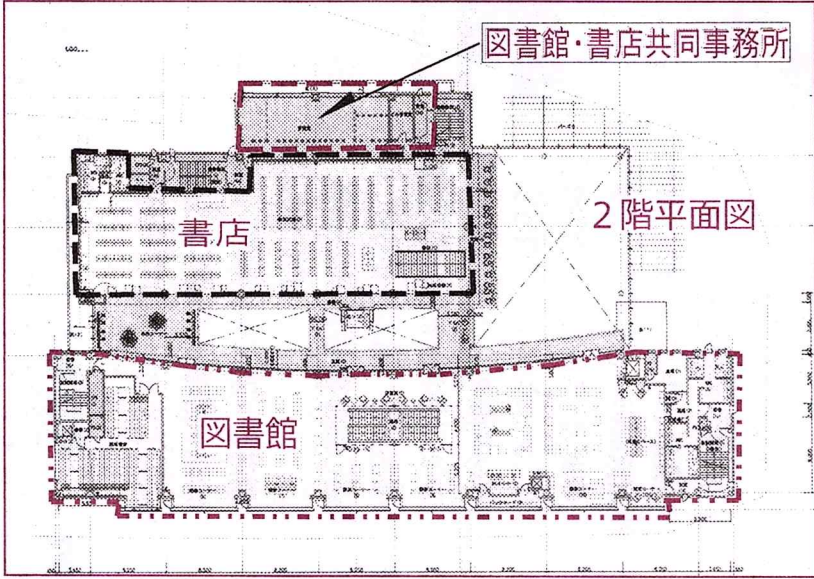
「設計、値上がり…問題ありすぎ」と反対

3月26日午後「平成27年第2回多賀城市議会臨時会」が開催され「財産の取得の変更」(市立図書館取得費を9億円から18億円に引き上げ)が提案され、賛成多数で可決されました。日本共産党多賀城市議団は反対しました。

今回の議案は、昨年の6月議会で議決した9億円(床代のみ)の市立図書館取得費を18億円(床代14億円、備品類4億円)に引き上げるもの。床代は当初に比べ56%増となりました。

今回の議案は、昨年の6月議会で議決した9億円(床代のみ)の市立図書館取得費を18億円(床代14億円、備品類4億円)に引き上げるもの。床代は当初に比べ56%増となりました。

今回の議案は、昨年の6月議会で議決した9億円(床代のみ)の市立図書館取得費を18億円(床代14億円、備品類4億円)に引き上げるもの。床代は当初に比べ56%増となりました。



藤原ますえい市議の討論

問題を指摘し反対の討論をおこなう。

第1に、設計の問題だ。当初1~2階を商業施設に3~4階を図書館にする計画だったが、3階建てに変更になり各階を南北に商業スペースと図書館に分けることにした。両者は明確に区別されておらず禍根を残した。商業施設1階のトイレは男女各2基しかなく、事務所は異常に狭い。

第2に、商業施設北側に共同事務所を設けるのも理解しがたい。今になって「事務所が狭いことに気づいた」などと言っているが、民間入居者の負担を軽減するための便法だ。図書館の購入費が9億円から18億円になったが、極めて不透明。その象徴がこの事務所共有化問題だ。

第3に、大崎市や一関市などが何度も住民の意見を聞き職員の意見も大事にしながら設計をしたのに対し、本市は一度もパブリックコメントを実施せず、特定業者の意向にそい設計がなされた。市民との協働はどこへ行ったのか。

第4に、2013年6月議会で市長は図書館を駅前振興策の手段とするのではなく図書館の理念を貫きながら、結果として振興策に繋がるようにすると答えていたが、この2年間はことごとくこの答弁に反するものだった。

ある時期にある意見が少数だからと言ってそれが誤りとは限らない。歴史上真理に転化した例はたくさんある。この事業に憂慮を表明しつつ討論とする。

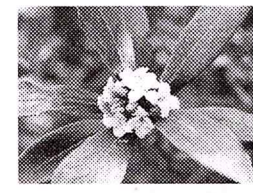
西行は、生前「願わくば花のしたに春死なんその如月の望月の頃」(できざる事なら桜が咲いて春に死にたいものだ。しかもお釈迦様命日の二月十五日)と詠み、河内国弘法寺で亡くなった。建久元年二月十八日(現在暦1190年3月30日)のこと。興味深いのは今年の旧暦2月16日が4月4日で満月であること。理想は「3・30」に旧「2・16」となることだが、西行のこの歌をほぼ体感できると言ってもよい。▼ところでなぜ「願わくば」なのか。いつも咲いているなら願う必要はないが、私が計算してみたところ、旧「2・15」には3年に1度くらいしか咲くことはない。桜はやはり「弥生」三月の花である▼ちなみに太陰太陽暦と太陽暦は最大何日ずれるか。前者は二月を「春分を含む月」と定義する。春分は現在暦ではほぼ3月21日と固定されているから、その日が旧「2・1」の場合が最大となり50日となる。晦日が春分の場合最少で21日となる▼さて例年、市党後援会でお花見会をしてきたが、今年2月末に本紙が一千号を突破したので、29日(水)に『多賀城民報』一千号祝賀会として屋内で「ハイ」をすることになった。詳細は本紙次号で発表予定…。

「事務所は足りている」のになぜ離れたところに共同事務所か
現図書館の延べ床面積は1541平方メートルで事務所は108平方メートルですが、新図書館は3342平方メートルと倍以上になるのに専用事務所は50平方メートルもありません。藤原市議はこれまで「こんなに狭くして仕事にならない。見直すべきだ」と再三指摘

その一方、昨年10月31日の議会への説明会で突如2階の商業スペース北側の事務所は商業スペースと図書館の共同事務所とすると発表しました。その理由は「図書館の開架スペース、閲覧スペースを減らし、共用スペースを増やそう」ということをしたのではないかと「質したところ当局は」と質したところ当局は「藤原市議から事務所が狭いという指摘があったためにこういう措置をとった」と今になって言い始めました。藤原市議は「事務所の共有化を打ち出して半年もしてから『実は図書館の事務所が狭かった』など誰が信用するか。結局設計について市教委はCCCに丸投げした」と糾しました。

質疑後、藤原市議は別掲のように反対の討論を行いました。賛成討論はありませんでしたが賛成多数で可決されました。

「願わくば」なのか。いつも咲いているなら願う必要はないが、私が計算してみたところ、旧「2・15」には3年に1度くらいしか咲くことはない。桜はやはり「弥生」三月の花である▼ちなみに太陰太陽暦と太陽暦は最大何日ずれるか。前者は二月を「春分を含む月」と定義する。春分は現在暦ではほぼ3月21日と固定されているから、その日が旧「2・1」の場合が最大となり50日となる。晦日が春分の場合最少で21日となる▼さて例年、市党後援会でお花見会をしてきたが、今年2月末に本紙が一千号を突破したので、29日(水)に『多賀城民報』一千号祝賀会として屋内で「ハイ」をすることになった。詳細は本紙次号で発表予定…。



崩れた当局答弁

藤原市議は「CCCから事務所は共用にするという提案を受けたのは昨春秋のことだが、それ以下の図書館の開架スペース、閲覧スペース、書庫スペースはそれぞれ何平方メートル増えたのか」と質しましたが市教委は「増えていない」ことを最終的に認めました。

藤原市議が「結局、民間入居者の負担を減らすことを目的に、商業スペースを減らし、共用スペースを増やそう」ということをしたのではないかと「質したところ当局は」と質したところ当局は「藤原市議から事務所が狭いという指摘があったためにこういう措置をとった」と今になって言い始めました。藤原市議は「事務所の共有化を打ち出して半年もしてから『実は図書館の事務所が狭かった』など誰が信用するか。結局設計について市教委はCCCに丸投げした」と糾しました。

東風城月
西行は、生前「願わくば花のしたに春死なんその如月の望月の頃」(できざる事なら桜が咲いて春に死にたいものだ。しかもお釈迦様命日の二月十五日)と詠み、河内国弘法寺で亡くなった。建久元年二月十八日(現在暦1190年3月30日)のこと。興味深いのは今年の旧暦2月16日が4月4日で満月であること。理想は「3・30」に旧「2・16」となることだが、西行のこの歌をほぼ体感できると言ってもよい。▼ところでなぜ「願わくば」なのか。いつも咲いているなら願う必要はないが、私が計算してみたところ、旧「2・15」には3年に1度くらいしか咲くことはない。桜はやはり「弥生」三月の花である▼ちなみに太陰太陽暦と太陽暦は最大何日ずれるか。前者は二月を「春分を含む月」と定義する。春分は現在暦ではほぼ3月21日と固定されているから、その日が旧「2・1」の場合が最大となり50日となる。晦日が春分の場合最少で21日となる▼さて例年、市党後援会でお花見会をしてきたが、今年2月末に本紙が一千号を突破したので、29日(水)に『多賀城民報』一千号祝賀会として屋内で「ハイ」をすることになった。詳細は本紙次号で発表予定…。